

県の新品種米「サキホコシ」園児、炊きたて味わう

かわしい保育園「音頭」も元気に披露



秋田市のかわしい保育園（三浦雄一園長）の給食に、県の新品種米「サキホコシ」が登場した。園児31人が、炊きたての味を楽しんだ。

10月31日の給食で振る舞われたのは、県主食集荷商業協同組合（秋田市）が園に贈った美郷町産の精米30キロ。園児は炊き上がったご飯をサケの塩焼き、野菜のあえ物、豚汁とともに味わった。年長の赤川結香ちゃん（6）は「モチモチして甘かった。また食べたい」と笑顔で話した。

給食に先立ち、園児は園を訪れた組合関係者らに「サキホコシ音頭」を披露。1カ月ほど前から練習してきた振り付けを元気いっぱい踊った。

県主食集荷商業協同組合の松田真理係長は「天候不順もあったが、農家さんが苦労して作ったお米。おいしいという声を聞けて安心した」と話していた。（小山田竜士）

（令和4年11月6日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）

